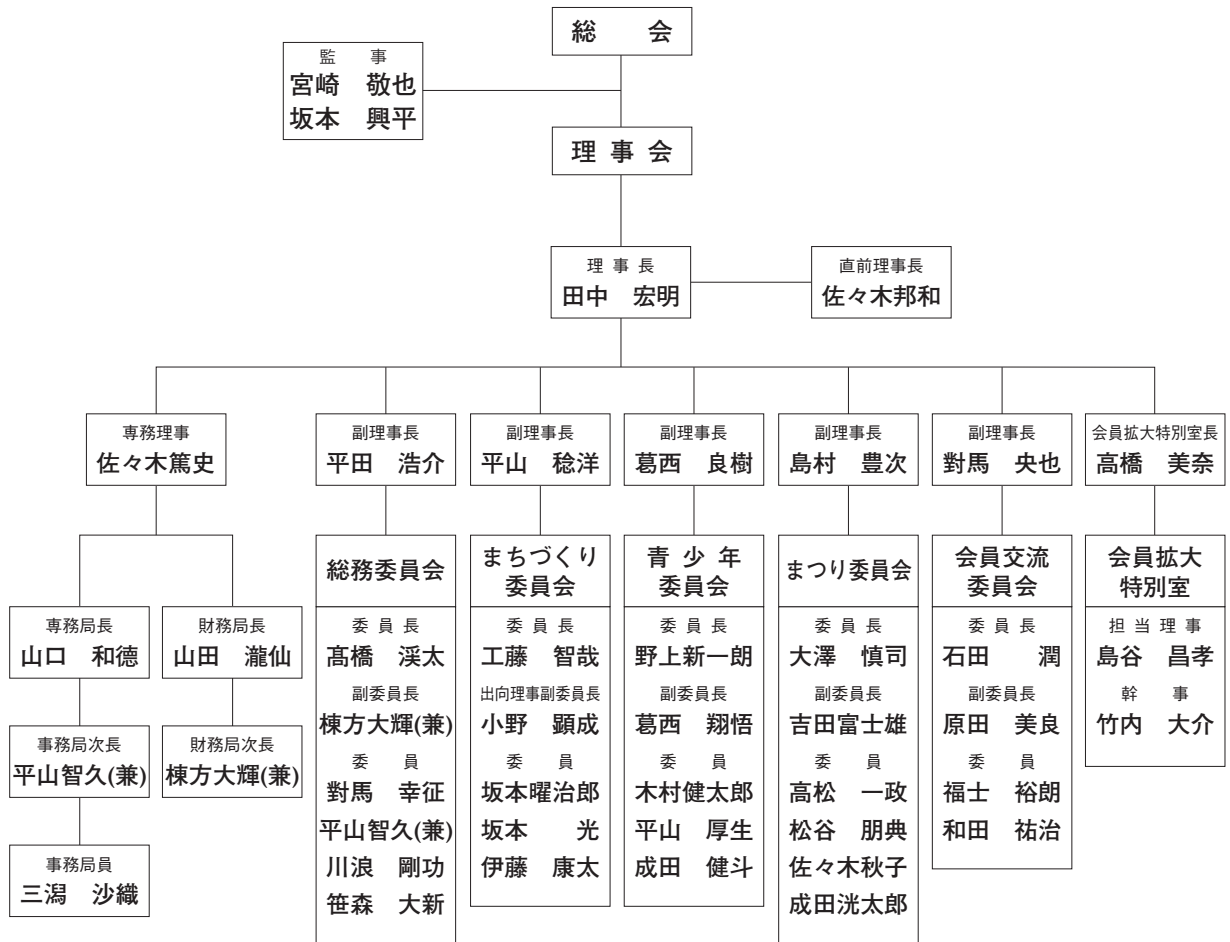


公益社団法人 五所川原青年会議所2020年度組織図



2020年度 出向者一覧

〈日本青年会議所〉

■渉外委員会 委 員 高 橋 美 奈

〈東北地区協議会〉

■東北青年フォーラム運営委員会 委 員 平 田 浩 介

■東北ゼミナール委員会 委 員 工 藤 智 哉

〈青森ブロック協議会〉

■LOM支援委員会 副 会 長 佐々木 邦 和
委 員 川 浪 剛 功

■アツイ青森実現委員会 委 員 福 士 裕 朗

■青森を護る青森を創る委員会 委 員 平 山 厚 生

■総務広報委員会 委 員 吉 田 富 士 雄

■アカデミー大学 塾 長 小 野 顕 成
運 営 幹 事 平 山 稔 洋
塾 生 伊 藤 康 太
塾 生 佐々木 秋 子
塾 生 平 山 厚 生
塾 生 竹 内 大 介
塾 生 山 口 和 徳
塾 生 和 田 祐 治
塾 生 笹 森 大 新
塾 生 成 田 健 斗

委員会事業方針・事業計画

総務委員会

担当副理事長 平 田 浩 介

基本方針

2012年1月5日に五所川原青年会議所は、社団法人から公益社団法人へ移行しました。以降、移り変わる時代の中においても、一貫した地域の「明るい豊かな社会」の実現を目的の下、地域から信頼される団体として運動を展開して参りました。当会が、今後も地域から信頼される団体であり続ける為には、地域との繋がりを大切にし、公益法人としての責務をしっかりと果たし青年会議所運動を展開して行かなければなりません。

その為に総務委員会では、「組織の軸」となる総会を企画運営すると共に「組織の基盤」である各定例会を円滑に執り行い、まちづくり・ひとづくり運動の推進を支えていくと共に、執行部と連携を図りながら盤石な組織運営を行い、公益法人としての「自覚」と「責任」を持って、法令を厳守し、高い公共性が伴う運動を展開して参ります。また、地域の事業に積極的に参加し協力体制を整え、地域との繋がりを大切にして運動を展開して参ります。

当会の「組織の軸」と「組織の基盤」をしっかりと支え、公益法人としての責務をしっかりと果たしていくことで、地域から信頼され頼られる団体として今後も存在し続け、地域の「明るい豊かな社会」の実現に繋がっていくものと確信し、一年間邁進して参ります。

委員長 高 橋 溪 太

基本方針

総務委員会はこれまで、組織運営の礎となり会員が活動・運動しやすい体制づくりと各委員会をサポートするという役割を直向きに行ってきました。各時代、各世代、変動する社会の中で抱える課題に対し最善のまちづくり・ひとづくり運動を展開してきた先輩方の精神を受け継ぎ、我々も「明るい豊かな社会」の実現を目的の下、地域との繋がりを大切にし、確実な組織運営と公益社団法人として責務を果たす必要があると考えます。

その為に総務委員会では、「組織の軸」となる総会の企画運営、新年祝賀会・選考委員会委員選挙の企画運営。各委員会と連携を図りながら「組織の基盤」である定例会や各種事業を執り行う為の根幹となり支え。また、地域との懸け橋となり「親子 de 立ちねぶた」を準備運営協力していきます。我々の活動を広く地域の方へ浸透させる事で、五所川原青年会議所運動が継続して行えるような環境に繋げて参ります。

地域に根ざした公益団体を目指し、総務委員会が五所川原青年会議所の礎となり、各委員会の行う事業をサポートし強化する事で、地域から信頼され頼られる団体として今後も存在し続け、地域の「明るい豊かな社会」の実現に繋がっていくものと確信し、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

総会・例会の運営

◎新年祝賀会（1月）他1

新体制でのご挨拶、当会の2020年度の活動内容と方針を来賓の方々に向けて発表し、理解を深めていただくことを目的とした事業。

・通信運搬費	50,000円	・消耗品費	1,000円
・印刷製本費	13,000円	・賃借料	40,000円
・委託費	90,000円	・雑費	1,000円

予算 195,000円

◎通常総会（2月）管理費に計上

当会の2019年度の事業報告及び、収支決算報告承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	33,000円
・委託費	3,000円	・雑費	1,000円

予算 49,000円

◎定例会（7月）他1

役員選考委員会委員選挙

当会の2021年度の役員選考委員会委員を選出することを目的とした定例会。

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	4,000円
・委託費	3,000円		

予算 20,000円

◎親子 de 立ちねぶた（8月）公3

地域の魅力のひとつの立佞武多の更なる向上に繋がる事を目的とする事業。

・支払寄付金	70,000円
--------	---------

予算 70,000円

◎通常総会（9月）管理費に計上

当会の2021年度の役員候補者及び組織図案の承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	33,000円
・委託費	3,000円	・雑費	1,000円

予算 49,000円

◎定例会（12月）他2

2020年度を振り返り2021年度を展望する事業の開催。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	14,000円	・賃借料	40,000円
・委託費	6,000円		

予算 70,000円

◎褒賞の企画 他1

2020年度の青年会議所運動に貢献・功労したメンバー及び委員会への褒賞の企画を目的とした事業（LOM内褒賞）。

・雑費	75,000円
-----	---------

予算 75,000円

事業費合計 430,000円

管理費合計 98,000円

まちづくり委員会

担当副理事長 平 山 稔 洋

基本方針

我々の住み暮らすこの五所川原市は、これまで西北圏域の中心として発展して参りました。そのような中、近年人口減少・少子高齢化が進み社会構造が大きく変化しつつあり、地方を取り巻く状況は厳しさを増していく事が予想されます。地域団体である青年会議所の会員である私達は、先輩諸兄から受け継いだ精神を継承し地域を牽引していく必要があり、一人ひとりが行動を起こし地域課題解決へのきっかけづくりとなる運動を展開していかなければなりません。

そこで当委員会は、地域の発展に繋がる可能性を見出すために、市政へ市民が自ら意見や提案ができる絶好の機会であり、まちづくりに携われる機会でもある「市民討議会」を本年度も開催し、市民参画を推進できる運動を展開して参ります。また、この地域の魅力や特色を活かした主体性のある事業を展開する事によって、独自のまちづくりに対する共感を得ることができ多世代の参画意識の醸成を押し進めて参ります。

我々地域団体、そして市民一人ひとりがまちづくりに欠かせない人財であり、その人財の参画意識が向上する事で地域コミュニティの形成に繋がるものと信じております。さらには当会が目指す「明るい豊かな社会」の実現に近づくものと確信し1年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

委員長 工 藤 智 哉

基本方針

五所川原青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を目指し JC 運動を継続展開してきました。私達の住み暮らす地域は少子高齢化に併せ、労働人口の都市部への流出など地方の人口減少は深刻なものとなっております。多くの若者で活気に溢れていた中心街も今やシャッター街と化しております。また、地域特性をみても健康に関する問題など解決すべき課題が山積みです。こうした諸問題を打破する為にはそこに住み暮らす市民一人ひとりが考え、行動していく必要があります。

その為にも、2012年より始まり根付いてきた「市民討議会」を、市民・行政・当会の三者が協働して本年度も開催致します。地域が抱える課題や魅力、特色を多様な年代の市民同士が討議を重ね、市民がまちづくりに携われる機会を創出いたします。また、市民の元気が地域の活性化に繋がると考え、「特色を活かした事業」を行い、市民参画意識促進を図り、市民が共感できるまちづくり運動を展開して参ります。

この地域に住み暮らす市民が市民参画意識を高く持ち、諸問題を正面から受け止め解決に向けてまちづくり運動を進めていく事で、地域コミュニティの形成となり、延いては当会が目指す「明るい豊かな社会」の実現に繋がるものと確信し、1年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ふるさとの「特色を活かした」定例会（5月）公3

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	30,000円
・印刷製本費	20,000円	・賃借料	10,000円
・保険料	10,000円	・諸謝金	20,000円
・委託費	190,000円	・雑費	10,000円

予算 300,000円

※その他の事業

◎2020年度五所川原市民討議会（9月）公3

市民がまちづくりに携われる機会の創出を目的とした市民参加型事業。

・支払寄付金	300,000円
--------	----------

予算 300,000円

事業費合計 600,000円

青少年委員会

担当副理事長 葛 西 良 樹

基本方針

豊かな自然と人の温もりの中で我々を育み続けてきた、奥津軽五所川原。この地域の次なる担い手は、今を生きる子ども達に他なりません。我々の幼少期に比べ社会のグローバル化、スマホの普及、ネット依存が進み、子ども達を取り巻く環境が常に変化を起し、これからの社会性・倫理観の低下を急速に加速させています。この時代だからこそ、地域の未来を担う子ども達が健全に、そしてすやかに成長していき、自分自身の未来、そして地域の未来を考え切り拓いて行く人材へと育成する事が必要だと考えます。

その為に、当委員会では青少年の、社会性と倫理観を育むことを目的として、日常生活では経験する事の出来ない様々な体験、学びの場を創出する事で、思いやりの心、感謝のできる心、あいさつや礼儀を重んずる心を持つ青少年の育成へと繋げて参ります。また、これからの時代を担い地域を背負っていく子ども達の為に、「想像力」豊かに新しいことへ常に挑戦し、未来を切り拓く青少年の育成を目的とした事業を開催いたします。

我々の事業を通じて経験し得た思いやりの心、感謝のできる心、あいさつや礼儀を重んずる心は今後の子ども達の人生において、大切な礎となります。その礎となるものが、周囲にそして地域に波及し、やがては「明るい豊かな社会」の創造に繋がるものと確信し、一年間邁進して参ります。

委員長 野 上 新一郎

基本方針

今の時代を生きる子ども達は、周囲を取り巻く環境が変化していく中で、子どもらしい自然の中での遊びの減少や、社会性・倫理観の低下が懸念されます。それに伴い人に対する「思いやり」の心の低下や、感謝の気持ち、コミュニケーション能力が低下しているのではないかと考えます。そこで、青少年の健全な育成を目指す当会では、これからのグローバル化の進む時代を担っていく「未来を切り拓く青少年」が健やかに成長できる機会を創出する必要があります。

その為に、当委員会では、「じょっぱりロード～OMOIYARIへの旅～」を開催し、子どもらしさ、そして社会性・倫理観を健やかに成長させる機会を創出するとともに、普段では味わえない体験をすることによって、仲間意識が向上し、他の子を思いやる気持ちや感謝の気持ちをもてる青少年の育成へ繋げて参ります。また、これからの時代を担っていく子ども達の成長の為に、「想像力」豊かに新しい時代を切り拓く青少年の育成を目的とした事業を開催いたします。

当委員会の事業を通じて培った経験は、これからの時代を担っていく子ども達を、「思いやり」があり、「想像力」豊かで健全な青少年へと成長させ、今後の予測困難な時代に必要な「希望の光」になることと確信し、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎公開定例会（8月）公1

「じょっぱりロード～OMOIYARIへの旅～」

徒歩修行を通じて、社会性・論理観、青少年の健全な育成を育む公開定例会。

・旅費交通費	300,000円	・通信運搬費	6,000円
・消耗品費	100,000円	・印刷製本費	15,000円
・燃料費	50,000円	・賃借料	30,000円
・保険料	100,000円	・諸謝金	30,000円
・租税公課費	2,000円	・委託費	400,000円
・衛生費	35,000円	・雑費	70,000円

予算 1,138,000円

◎定例会（11月）公1

「想像力」豊かで新しい時代を主体的に切り拓く青少年の育成を目的とした事業。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	20,000円	・保険料	10,000円
・賃借料	30,000円	・諸謝金	20,000円
・委託費	100,000円	・雑費	70,000円

予算 270,000円

※その他の事業

◎実行委員会設立（4月）公1

実行委員会を設置することにより当事業を、会員全員で一致団結し、遂行していくと共に当事業を成功へ導くことを目的とする。

◎「じょっぱりロード～OMOIYARIへの旅～」ボランティア研修会・参加者説明会（4月～7月）

「じょっぱりロード」の開催前に参加者（小学生）をサポートするボランティア（高校生）の研修と、参加者（小学生）とその保護者に向けて説明会を行い、事業の円滑な実施を図るとともに、事業への意識向上を促す。

・旅費交通費	60,000円	・通信運搬費	8,000円
・消耗品費	3,000円	・賃借料	32,000円
・委託費	120,000円	・保険料	15,000円
・印刷製本費	55,000円	・雑費	1,000円

予算 294,000円

事業費合計 1,702,000円

まつり委員会

担当副理事長 島 村 豊 次

基本方針

昭和48年に先人達が豊作を願い祀ってきた虫おくりにより我々、五所川原青年会議所が火まつりの要素を取り入れ誕生した「奥津軽虫と火まつり」。この伝統文化ともいえるまつりも今年で48回を数え、進化を続けていく一方で、虫送り団体の減少、後継者不足などの問題も抱えております。この問題を関係諸団体の方々と情報共有をし、先人達が地域の幸せを願い紡いでこられたまつりの燈火が未来永劫続くよう、発展・継承をしていかなければなりません。

その為には、主催団体でもある我々がこのまつりを知ることが必要であり、その情報を共有できる機会を構築して参ります。そして、そこで培われたまつりの想いを地域の若い世代と共に広く伝播して参ります。本年で48回目となる「奥津軽虫と火まつり」を開催、成功へ導く為にも実行委員会を組織し、神事であるこのまつりの素晴らしさを関係諸団体と共に、地域へ広く伝播していくことで、未来永劫受け継がれていく事と信じて活動して参ります。

「弥栄への願い」を込めてこのまつりは時代の変化と共に進化し続けて参りました。47年の歴史の歩みを確認し、地域そして若い世代の方と共に第48回「奥津軽虫と火まつり」成功へと繋げていくことで「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信致します。

委員長 大 澤 慎 司

基本方針

先人達によって地域の幸せ願い、継承と共に進化を遂げながら今年で48回を数えることとなった「奥津軽虫と火まつり」。近年では参加団体の減少と後継者不足が懸念されており、私たち五所川原青年会議所だけではこの問題と向き合っていくのは大変困難です。しかし、地域の皆様や関係諸団体と情報を共有し、この伝統あるまつりを、より発展させながら後世へと継承していくことが、受け継いできた私たちの誇りであり、責務であります。

その為には、当会会員にもさらに深く、まつりのことを知ってもらうための定例会を開催し、各会員がこれまで以上に知識を身につけていただきます。そして、高校生や大学生による「親善大使事業」を本年も行います。この活動を通して地域の宝であり次代の担い手である小学生の子ども達に、まつりをより身近に感じられるように学び、ふれあう機会を作り「奥津軽虫と火まつり」の伝統を継承、発展させていけるようにして参ります。

47年の長きにわたり、積み重ねてきたまつりへの誇りを乗せ地域の「弥栄」を願い、第48回「奥津軽虫と火まつり」を成功させることによって「明るい豊かな社会」の実現となることを確信し、1年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（4月）公2

「奥津軽虫と火まつり」の事前準備から当日までの流れを、当会会員に改めて学んでもらうことを目的とした定例会。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	10,000円	・賃借料	10,000円
・委託費	30,000円	・雑費	30,000円

予算 100,000円

◎公開定例会（6月）公2

「奥津軽虫と火まつり」

公益社団法人五所川原青年会議所が主催し、地域の人々や参加者とともに「天下泰平・国家安泰・五穀豊穡・悪疫退散」の祈りを込め、地域の幸せを願う定例会。

・旅費交通費	1,000円	・通信運搬費	60,000円
・消耗什器備品費	17,000円	・消耗品費	950,000円
・修繕費	100,000円	・印刷製本費	40,000円
・水道光熱料	10,000円	・賃借料	150,000円
・保険料	250,000円	・諸謝金	315,000円
・支払負担金	40,000円	・委託費	1,870,000円
・衛生費	180,000円	・雑費	110,000円

予算 4,093,000円

※その他の事業

◎奥津軽虫と火まつり親善大使事業（3～6月）公2

高校生・大学生から成る「奥津軽虫と火まつり親善大使」が活動する事業。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	15,000円	・賃貸料	10,000円
・保険料	30,000円	・委託費	30,000円
・雑費	20,000円		

予算 120,000円

事業費合計 4,313,000円

会員交流委員会

担当副理事長 對馬 央也

基本方針

青年会議所は多様な職種の会員が在籍し、同年代の仲間と共に切磋琢磨し研鑽を積みながら活動を通して交流を図り事業を展開する団体です。しかし、近年の労働人口の減少が社業へ影響を及ぼし、会員のJC活動へ向ける意識の低下傾向が懸念されます。参加意識の低下は事業へ様々な形で影響を及ぼし、会員の士気の低下、延いては地域への発信力の低下にも繋がります。「明るい豊かな社会」の実現を目的とする当会の運動には、更なる会員の友情と絆の構築が必要不可欠です。

この課題への取り組みとして、地域の先輩であり当会OBでもあるシニアクラブの先輩方に、本年の事業へのご理解・ご協力を賜ると共に地域の縦の交流を図り、連綿と紡がれてきた運動への理解と友情の大切さを学びます。そして、スポーツや文化を通して、会員が「ENJOY」しながら達成感・仲間意識・連帯感を共有し、同年代における横の交流を深めます。さらには、新入会員と会員がスポーツを通して「ENJOY」しながら新しい友情を育み、仲間としての絆を深める機会を創出します。

会員が共により良い未来を切り開く志を抱き、事業を展開することで当会の運動は強く伝播されます。そして、運動を通して同じ時間を共有し深められた友情は、一生涯解けることの無い絆となり、この地域の「明るい豊かな社会」の実現へ繋がるものと確信し、1年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

委員長 石田 潤

基本方針

青年会議所は20歳から40歳までの様々な業種の会員が在籍し、年齢や役職の垣根を超え、会員同士の交流を図りながら事業を展開する団体です。しかし、近年の人材不足の影響により、社業への注力、趣味、家族との時間を大切にする一方で、当会の活動への参加意識の低下が見受けられます。参加意識の低下は、事業を展開していくなかで規模や質等に影響を及ぼし、当会の運動の発信力低下に繋がります。当会の運動目的である「明るい豊かな社会」の実現の為には、会員の友情と絆が必要不可欠です。

その為には、先輩方から本年の当会の運動に一層のご理解とご協力を賜ると共に、事業を展開していく中での友情と絆の大切さを学びます。そして、スポーツや文化を通じて、会員同士のコミュニケーションを増やし、協調性と関係性を育み「繋げ深める友情」の場を創出します。さらには、新入会員と会員がスポーツを通して互いに協力し合い「ENJOY」することで、相互の友情を育みます。育まれた友情は、同じベクトルで活動する原動力となり、当会の活動への参加促進へ寄与します。

育まれた友情と仲間意識を持ち事業を展開することで、当会の運動はより強く地域に伝播されます。何より、運動を通して深められた友情は解けることのない絆となり「明るい豊かな社会」の実現へ繋がるものと信じ、1年間職務を果たせるよう邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（3月）他1

「OB交流会」

OBから運動と友情の大切さを学ぶ定例会。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	11,000円
・印刷製本費	20,000円	・賃借料	10,000円
・委託費	10,000円		

予算 56,000円

◎定例会（10月）他1

「ENJOYスポーツ交流会」

新入会員と会員が相互交流し友情を育む定例会。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	140,000円
・印刷製本費	20,000円	・賃借料	20,000円
・保険料	15,000円	・委託費	150,000円

予算 350,000円

※その他の事業

◎「繋げ深める友情事業」（7月）他1

スポーツや文化を通して、会員のコミュニケーションを図る事業。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	20,000円
・賃借料	20,000円	・保険料	15,000円
・委託費	40,000円		

予算 100,000円

事業費合計 506,000円

会員拡大特別室

室長 高橋 美奈

基本方針

五所川原青年会議所は昨年度認承55周年を迎えました。創立以来、創始の精神と先輩諸兄の弛まぬ努力と想いを受け継ぎ、多くの仲間とともに様々な活動・運動を展開し、志を同じくする仲間を増やしてきました。しかし近年、拡大に成功したように見られるものの、早期退会者や在籍年数の短期化により会員の減少が危惧されております。今後も私たちが活動・運動を展開し、「明るい豊かな社会」の実現に向け、全会員で会員の拡大に取り組み、組織を強化していく必要があります。

まずは、室が中心となり会員全体に拡大の重要性を周知し、L O M全体を巻き込み会員拡大に取り組んで参ります。そして、入会間もないメンバーが会員拡大に取り組める体制を構築する事で、更なる拡大に繋げて参ります。また、新入会員が組織を理解し、現会員と打ち解けられるよう情報及び意識の共有を図ります。さらに、先輩方からより一層の協力を得ることで、さらなるリストアップの強化を図り、会員拡大に繋げて参ります。

会員拡大は単なる勧誘ではなく、J C運動の根源であり、最大の意識変革の機会です。これからの地域の未来を本気で考え、一人ひとりがJ Cを語り、共に行動できる同志を増強することが、組織の活性化、さらにはまちの活性化に繋がるものと信じ、一年間邁進して参ります。

担当理事 島谷 昌孝

基本方針

五所川原青年会議所は昨年度認承55周年を迎えることができました。これも、偏に諸先輩方の弛まぬ努力と永続的な拡大の積み重ねであります。この、厚い想いを受け継ぎ「明るい豊かな社会」を実現して行くためには数多くの仲間が必要であると考えます。昨年度は12名の先輩方が卒業されました。このままでは、今後3年以内に現在の半数近くまで会員が減少すると予想されます。そのような中、事業を継承・発展させ後世に受け継いで行かなければなりません。

その為、当室が先頭に立ち「将来を見据えた拡大運動」をL O M全体の共有認識とするべく、1年を通して会員拡大の重要性や、現状と今後を可視化した会員拡大進捗状況データを用いて周知することにより会全体で課題を共有します。その上で、新入会員も率先して拡大に取り組めるよう会員交流委員会と連携して、J Cの魅力を伝え、新たな若手人材の発掘を行います。更には、シニアクラブからの情報収集を継続的に行い、リストアップして会員拡大に繋げて参ります。

会員拡大が成功した暁には、多くの仲間と活気溢れる五所川原J Cが構築され、3信条の結末の基にJ C運動を行ったメンバーが多ければ多いほど、活気溢れるふるさとの明るい未来になるものと信じ、1年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※その他の事業

◎会員拡大（1月）通年

「将来を見据えた拡大運動」を行うため、継続的に会員拡大の必要性を提唱する。

予算 0円

◎会員拡大周知事業（2月）適時

会員拡大の重要性や、現状と今後の会員数を可視化して会員拡大進捗状況を全体へ周知する。

・通信運搬費	10,000円	・印刷製本費	10,000円
・賃借料	10,000円		

予算 30,000円

◎異業種交流会（5月）

新入会員の獲得に向け、異業種での交流を図る事業。

・通信運搬費	10,000円	・印刷製本費	10,000円
・賃借料	8,000円	・消耗品費	8,000円
・雑費	4,000円		

予算 40,000円

◎家族交流会（12月）

新入会員が主体となって、会員家族と親睦を深める事業。

・通信運搬費	20,000円	・印刷製本費	20,000円
・委託費	10,000円	・消耗品費	20,000円
・賃借料	20,000円	・雑費	10,000円

予算 100,000円

事業費合計 170,000円

年間事業スケジュール(事業)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
日本青年会議所	京都会議 京都 16日(木)～19日(日) 総会 京都 18日(土)	金沢会議	総会 東京 28日(土)			
東北地区協議会	正副拡大会議 仙台 7日(火) 正副拡大会議 仙台 23日(木) 役員会議 仙台 15日(水) 会員会議所会議 京都 17日(金)	正副拡大会議 仙台 18日(火) 役員会議 仙台 7日(水) ゼミナール開校式 仙台 8日(土)	正副拡大会議 仙台 19日(木) 役員会議 仙台 10日(火) ゼミナール第1講座 盛岡 14日(土)～15日(日)	正副拡大会議 山形 15日(水) 役員会議 十和田 3日(金)	正副拡大会議 仙台 22日(金) 役員会議 秋田 12日(火)	正副拡大会議 仙台 22日(月) 役員会議 一関 5日(金) ゼミナール第2講座 東北各県
青森ブロック協議会	役員会議 青森 8日(水) 会員会議所会議 十和田 25日(土) アカデミー大学 開校式・第1講座 十和田 25日(土) 新春名刺交歓会 十和田 25日(土)	役員会議 青森 5日(水) 会員会議所会議 三沢 22日(土)	役員会議 青森 11日(水) 会員会議所会議 弘前 21日(土)	役員会議 青森 8日(水) 会員会議所会議 八戸 25日(土)	役員会議 青森 13日(水) 会員会議所会議 むつ 23日(土)	役員会議 青森 3日(水) 役員会議 青森 24日(水) 会員会議所会議 黒石 18日(木)
五所川原青年会議所	新年祝賀会 22日(水)	通常総会	定例会	定例会	公開定例会	奥津軽虫と火まつり
理 事 会	7日(火)	5日(水)	5日(木)	6日(月)	5日(火)	5日(金)
総 務 委 員 会	新年祝賀会	通常総会				
青 少 年 委 員 会						
まつり委員会				定例会主管		奥津軽虫と火まつり
まちづくり委員会					定例会主管	
会員交流委員会			定例会主管			
会員拡大特別室	会員拡大(通年)	会員拡大周知			新入会員歓迎会	

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
日本青年会議所	国際アカデミー 福岡 サマーコンファレンス 横浜 18日(土)～19日(日)		全国大会 札幌 24日(木)～27日(日) 総会 札幌 25日(金)		JCI世界会議 横浜 3日(火)～7日(土)	
東北地区協議会	正副拡大会議 気仙沼 20日(月) 役員会議 登米 8日(水) ゼミナール第3講座 南陽 25日(土)～26日(日)	正副拡大会議 仙台 17日(月) 東北青年フォーラム 南陽 29日(土)～30日(日)	正副拡大会議 仙台 14日(月) 役員会議 南陽 4日(金)	正副拡大会議 八戸 13日(火) 役員会議 天童 2日(金) 役員会議 伊達 30日(金)	正副拡大会議 仙台 13日(金) 役員会議 伊達 3日(火) 役員会議 仙台 28日(土) 会員会議所会議 仙台 29日(日)	
青森ブロック協議会	会員会議所会議 青森 4日(土) ブロック大会 青森 4日(土)～5日(日)		役員会議 WEB 2日(水) 会員会議所会議 五所川原 19日(土)	役員会議 青森 30日(水) 会員会議所会議 青森 10日(土)	役員会議 青森 28日(水) 会員会議所会議 十和田 14日(土) ブロック卒業式	
五所川原青年会議所	選考委員会選挙	公開定例会	通常総会	定例会	公開定例会	定例会
理 事 会	6日(月)	10日(月)	7日(月)	5日(月)	5日(木)	4日(金)
総 務 委 員 会	選考委員会選挙	親子de立佞武多	通常総会			次年度説明会・ LOM内褒賞
青 少 年 委 員 会		じよっぱりロード2020			定例会主管	
まつり委員会						
まちづくり委員会			市民討議会			
会員交流委員会	会員交流事業			定例会主管		
会員拡大特別室						家族交流会